

報道機関各位

いわき市勿来関文学歴史館  
企画展「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」の開催について

このことについて、次のとおりお知らせします。

## 1 事業概要

### (1) 企画展名称

「語り伝えたい記憶～風船爆弾と学徒動員～」

### (2) 会期

令和6年4月25日（木）～9月1日（日）

（休館日 毎月第3水曜日（祝日の場合はその翌平日））

### (3) 料金

一般：330円（280円） 中高大：220円（170円） 小学生：170円（110円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

#### 【無料になる場合】

- ・市内に住所を有する65歳以上の方。
  - ・市内の小・中・高・専修・高専生（ただし、土曜日と日曜日のみ）。
  - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方。
  - ・次に該当する障がい者の方の介護のために同伴される方。
    - ①身体障害者手帳に第1種身体障害者である旨の記載がある方。
    - ②療育手帳に記載されている障害の程度の表示がAである方。
    - ③精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害等級が1級である方。
- （該当する障がい者の方1名につき介護者1名）

### (4) 開館時間

9：00～17：00（受付は16：30まで）

## 2 事業内容

### (1) 趣旨

昭和19（1944）年11月から翌年4月まで福島県勿来から和紙とこんにやく糊でつくられた気球に爆弾を搭載した風船爆弾が放球されました。また、戦時中には10代の学生、生徒たちも学徒動員で働きました。いわき市内に在住の方からうかがった風船爆弾基地や学徒動員に関する証言を紹介します。また、勿来町出身のアーティスト金澤裕子氏による、体験談から着想を得た絵画作品も展示します。

### (2) 主な展示資料（約20点）

風船爆弾10分の1模型（北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館蔵）、風船爆弾球皮（当館蔵）、日渡賢治氏によるスケッチ（当館蔵）、オレゴン州ブライの「Michell Monument」のパンフレット（竹内公太氏提供）、ミシガン州バイロンセンター歴史博物館のパンフレット（竹内公太氏提供）、金澤裕子氏イラストなど

### 3 会期中のイベント

(1) 講演会「資料から見た風船爆弾～開発者の視点・気象学者の視点～」

ア 日 時：6月23日（日） 14：00～15：30

イ 会 場：体験学習施設 吹風殿（当館に隣接）

ウ 講 師：榑良幸広氏（公益財団法人いわき市教育文化事業団調査係長・気象予報士）

エ 定 員：50名（先着順、要電話・メール申込）

(2) 町歩き＋ギャラリーツアー

ア 日 時：5月3日（金）・5月12日（日） 13：00～15：00

イ 集 合：日農工業株式会社駐車場（福島県いわき市勿来町関田滝沢17）

ウ 参加料：330円（観覧料、ガイド代、保険料含む）

エ 定 員：各15名（先着順、要電話・メール申込）

オ 内 容：勿来基地周辺を散策した後、学芸員と作家の解説を聞きながら、企画展、市民ギャラリー展示と竹内公太「地面のためいき」展示を観覧します。

(3) ギャラリートーク

ア 日 時：6月9日（日）・7月14日（日）・8月11日（日）  
14：00～14：30

イ 内 容：当館学芸員が展示内容について解説します（事前申込不要）。

(4) 竹内公太「地面のためいき」展示

ア 日 時：5月3日（金）～5月12日（日） 9：00～17：00

イ 会 場：体験学習施設 吹風殿（当館に隣接）

ウ 観覧料：無料

エ 内 容：アメリカで実際に風船が落ちた場所を取材して制作された、10メートル大の写真でできた風船を展示します。

(5) 市民ギャラリー展示「竹内公太写真展～風船の飛んだ先～」

ア 日 時：5月3日（金）～7月31日（水） 9：00～17：00

イ 会 場：当館市民ギャラリー

ウ 観覧料：無料

エ 内 容：米軍情報部資料をもとに、風船の飛来したアメリカの現地を訪ねて撮影した風景写真を展示します。

### 4 問い合わせ先

いわき市勿来関文学歴史館

〒979-0146 勿来町関田長沢6-1

電話 0246-65-6166 FAX 0246-65-6167

Mail bunreki@iwaki-ec.or.jp

担当 学芸員 渡邊千香

#### 【事務担当】

観光振興課観光施設係

電話 0246-22-7480



イラスト・金澤裕子

いわき市勿来関文学歴史館 令和6年度企画展

# 語り伝えたい記憶

## ～風船爆弾と学徒動員～

令和6年 4月25日(木)～9月1日(日)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 毎月第3水曜日(祝日の場合はその翌平日)  
観覧料 一般330(280)円・  
中高大220(170)円・小170(110)円

※カッコ内は20名以上の団体割引料金  
※いわき市に住所を有する65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、いわき市内の小・中・高・専修・高専生(土曜日・日曜日のみ)は無料  
※いわき市文化財サポーターの方などは団体割引料金

ホームページ



X



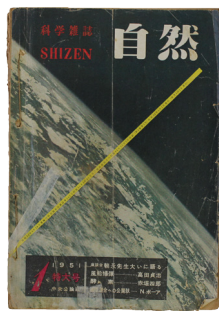
 **いわき市勿来関文学歴史館**  
Iwaki City Nakaso Barrier Museum of Literature and History

〒979-0146 福島県いわき市勿来町関田長沢6-1  
Tel: 0246-65-6166 Fax: 0246-65-6167 E-mail: bunreki@iwaki-ec.or.jp

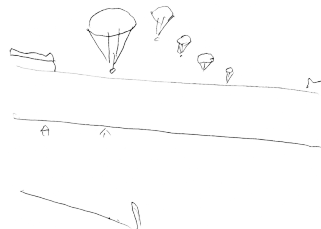




風船爆弾 10分の1 模型  
(北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館蔵)



科学雑誌「自然」1951年1月号  
(当館蔵)



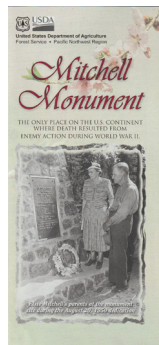
日渡賢治氏によるスケッチ (当館蔵)



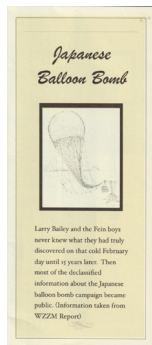
風船爆弾球皮の一部  
(赤津佳衛氏寄贈 当館蔵)



風船爆弾に使われたマニラ麻のロープ  
(日渡賢治氏寄贈 当館蔵)



オレゴン州プライの「Mitchell Monument (ミッチェル・モニュメント)」のパンフレット  
(竹内公太氏提供)



ミシガン州パイロンセンターの歴史博物館のパンフレット「Japanese Balloon Bomb」  
(竹内公太氏提供)

太平洋戦争末期の昭和19(1944)年11月から翌年4月まで、福島県勿来の地から風船爆弾が放たれました。

風船爆弾は和紙とこんにやく糊で作られた気球に焼夷弾を吊るし、ジェット気流(偏西風)に乗せてアメリカ本土を攻撃するために作られた秘密兵器です。

約9300発が千葉県一宮(現在の千葉県一宮市)、茨城県大津(現在の茨城県北茨城市長浜)、福島県勿来(現在のいわき市勿来町)から放球され、そのうち約1000発が北アメリカ大陸へ到達したと言われています。

ふ号作戦と呼ばれた秘密作戦で、基地や風船爆弾の存在は隠され、ほとんどの関連資料は終戦後に失われました。

また、戦時中には10代の学生、生徒たちも学徒動員で軍隊が必要とするものを作る工場や食料の増産のために働きました。

80年の時を経て、数少なくなった証言者による当時の生活のようすや自らの体験のお話を紹介します。

## 会期中のイベント

### ● 講演会「資料から見た風船爆弾

～開発者の視点・気象学者の視点～

日時：6月23日(日) 14:00～15:30

会場：体験学習施設 吹風殿(当館に隣接)

講師：柳良幸広氏(公益財団法人いわき市教育文化事業団 調査係長・気象予報士)

定員：50名(先着順、要事前申込)

### ● 町歩き+ギャラリーツアー

勿来基地周辺を散策した後、学芸員と作家の解説を聞きながら、企画展、市民ギャラリー展示と竹内公太「地面のためいき」展示を観覧します。

日時：5月3日(金)・5月12日(日) 13:00～15:00

集合：日農工業株式会社駐車場

(福島県いわき市勿来町関田滝沢17)

参加料：330円(観覧料・ガイド代・保険料を含む)

定員：15名(先着順、要事前申込)

### ● ギャラリートーク

日時：6月9日(日)・7月14日(日)・8月11日(日)  
14:00～14:30

当館学芸員が展示内容について解説します(事前申込不要)。

### ● 竹内公太「地面のためいき」展示

アメリカで実際に風船が落ちた場所を取材して制作された、10メートル大の写真でできた風船を展示します。

日時：5月3日(金)～5月12日(日)

9:00～17:00

会場：体験学習施設 吹風殿

観覧料：無料

### ● 市民ギャラリー展示

「竹内公太写真展～風船の飛んだ先～」

米軍情報部資料をもとに、風船の飛来したアメリカの現地を訪ねて撮影した風景写真を展示します。

共催：当館

日時：5月3日(金)～7月31日(水) 9:00～17:00

会場：当館市民ギャラリー 観覧料：無料



竹内公太「地面のためいき」

※講演会、町歩き+ギャラリーツアーは電話またはメールにてお申し込みください。  
※SNSからの連絡については、対応できない場合がありますので、ご了承ください。